

市の人ロ
(8月1日現在)
男女計
24,656人
25,287人
49,943人
14,516世帯



市報

No.378

いしおか

8月号

昭和61年8月15日発行 茨城県石岡市役所 〒315 石岡市大字石岡3165-2

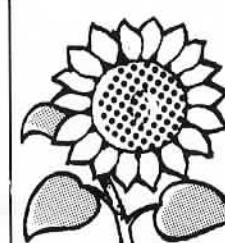


石岡の民家 ㉙ 鈴木巳起男宅(総社2)



▶7月19日に行われた日本野鳥の会の「ホタルと夜鳴く鳥を求めて」には、高浜入りの湖岸に約20名の会員が集いました。野鳥の会についての問い合わせは、☎029-5111-5156 総務担当石井省三さんへ。

は野鳥の宝庫
高浜入り湖岸



【石岡にもこんなにすばらしい場所があったなんて!】沈みゆく夕日の中で、参加者の一人

が霞ヶ浦の湖面を見つめて感動の声を上げました。湖岸一面に広がるアシ・マコモなどの上に

止まる何千という水鳥たち。ムクドリ・ゴイサギ・ヨシキリ・

シギなどが、様々な鳴き声で大合唱を繰り返します。夕暮れの風に乗って、ゆつたりと夏空を舞う鳥も数多く見られます。

日本野鳥の会茨城支部が開催した野鳥観察会「ホタルと夜鳴く鳥を求めて」は、高浜入り干拓の霞ヶ浦湖岸に約二十人の会員を集めて行われました。

会員の一人、市内泉町にお住まいの三浦やす子さん(51)は、

「最近になつて、やつと自然を見渡せるようになりました。東京から移つて二千五年になりますが、石岡は本当に自然に恵まれた都市だと思います。

野鳥を観察していると、地球は人間だけのものではないことを再認識します。自然や生き物を本当に大切にして付き合つてゆきたいですね」と双眼鏡を手に答えてくれました。

「ほら、オオヨシキリがいま

松のみどりは日本のみどり 松の木保存の石塚さん



▲石岡では珍しくなってしまった松の木を3,000本も大切に育てている石塚さん。松の木保存に関心のある方は、☎4-1238の石塚宅へご連絡を。

今から十年ほど前から枯れ始めた茨城の松。いつの間にか周囲からは松林の風景が消え去ってしまいました。

「松のみどりは、日本を代表するみどりです」と語る府中三丁目の石塚英一さん(51)は、その言葉通り松を我が子のようにかわいがり、現在三千本にも及ぶ松の木を育てています。

【昭和四十年に、この栄松と泉町・美野里町の三ヵ所、全部で一町歩の畑に八千本ほど植えたんです。昭和五十三年から夢中で消毒をやりました。マツノザイセン虫を運ぶマダラカミキリの殺虫剤を、六月になると毎年二~三回散布しました。消毒

虫や魚や植物に実際に触れよう

市民提言「自然を考えよう」

これが一杯詰まっています。

カブト虫でも、実際に自分で捕そそうすると時間も知識も必要になります。草をかき分けやブタに刺され、自分でやつてみると大変なことが分かるはずであります。子供たちが自然を知らないで育つてしまうのは不幸なことがあります。



河川の汚れは、市民全体の問題

豊かな緑とやすらぎの都市

したよ】突然、注意深い声でアシの草原を指差したのは、今回

のリーダー石井省三さん(33)。

全国で五百種といわれる鳥類

のうち、海・山・湖に恵まれた

豊かな自然を誇るかのように光

輝ではホタルたちが、高浜の

舞いを始めました。

日も沈み、水面を渡る風が涼

さを運んできました。

豊かな自然を誇るかのように光

輝の宝庫です。

茨城は三百十九種類もの鳥が確

認されています。高浜入りの湿

原は、その茨城のなかでも鳥類

が双眼鏡やフィールドスコ

ープで湿原の一角を注視しました。

いさえずりの声。

ギョギヨン、ギョギヨンと甲高

音が双眼鏡やフィールドスコ

ープで湿原の一角を注視しました。



▲若者たちの心を捕え続けるフォルクス・ワーゲン。木村さんの部屋には、そのミニカーが一杯に詰め込まれていました。

フォルクス・ワーゲンビートルは、生産中止になつてから八年。個性的なスタイルとシンプルさ——そんな魅力が、ワーゲンを一つのカーファッションや社会風俗として、人々の心に強い印象を残してきました。

石岡ギネスブック (13) 国府二丁目の木村幸弘さん ワーゲン・ミニカー八百台

「友達は車にお金をかけましたが、自分はオモチャにお金をかけたのです」口ヒゲを蓄えた木村幸弘さんは、おびただしい数のミニワーゲンに囲まれて楽しそうに語り始めました。

「四年前の夏、ワーゲンを乗りましたところですが、この部屋にワーゲンのミニカーを一、三台飾つて置いたのです。で、それから『ボバイ』とか『ファイン』などの雑誌の影響でミニカーを集めだしたのです。今あるのは約八百台。一番安いのが一円の消しゴムカー。最高は一万円のものです」

部屋の中を見渡すと、あるわざと陳列されていました。バス・パリアント・カルマンギア・オーブンカー・ゴルフ・シリコ・パサート・K70・ジ

いしおかの祭りがやつて来た
いしおかの祭りももうすぐ。市内のお祭りから練習の太鼓の音が響いてきます。今からちょうど五十年前、昭和十一年のお祭りは、上橋町が年番でした。この年は雨もなく、市

内の人抜き通りは、近郷からの見物客で溢れました。

9月1日は防災の日 —グラッときたらあなたは?—

■地震の心得10カ条

- あわてて戸外に飛び出さない
- 火が出たらまず消防
- 狭い路地・堀ぎわに近寄らない
- 懐中電灯を用意しておく
- 秩序を守り、衛生に注意
- すばやく火の始末
- 一分過ぎたらまず安心
- 避難は徒歩で、持物は最小限に
- がけ崩れに注意
- 余震を恐れず、デマに迷うな

9月9日は救急の日

石岡での救急車の出動は、昭和24年の開署から今年の6月30日までに14,936件。実に15,752人の市民を搬送してきました。

昨年は、800回の救急車出動で829人を運びました。

現在、石岡市では3台の救急車が市民の安全を守るため活躍しています。

■救急車を呼ぶときは

- 落ち着いて“いつ・どこで・だれが・どうしたか”を確実に伝える。
- 現在地・目標などを具体的に言う。
- 救急車が到着するまでどうしたら良いか聞く。
- 保険証・着替えなどを整え、すぐ病院へ行ける準備をする。
- サイレンが聞こえたら誘導に出る。



▲お祭りに最も人の集まる八間道路には、いきなり姿の女性が2人。

いしおか回憶録 VI

写真で綴る



▲獅子頭を囲んで勢ぞろいした守木町の若衆たち。今よりも質素な出立でしたが、ずらり並んだエネルギーが印象的です。

市長日記

●七月二十六日(土)

石岡広域シルバー人材センター

会員募集中!

=60歳以上の働きたい方へ=

石岡・小川・美野里・玉里・千代田の5市町村で構成した“石岡広域シルバー人材センター”は、高齢者の方々に仕事の場を提供するため石岡市役所内に新設されました。

- 自分の能力や経験を生かして地域のために尽したい方。
- 健康のため何らかの仕事をしたい方。
- 自分の小遣いぐらいは自分の力でと考えている方。

お気軽にお申し込みください。詳しくは市役所社会福祉課へ。

